



# 行政視察報告書

令和 4年 10月 25日

笠岡市議会議長 殿

(出張者) 議員 天野 喜一郎 議員 大月 隆司  
 議員 仁科 文秀 議員 栗尾 典子  
 議員 桑田 昌哲 議員

下記のとおり行政視察を実施したのでその結果を報告します。

## 記

### 行程

- 10月19日 13時00分 ～ 17時00分 全国市議会議長会研究フォーラム  
 『コロナ後の地域経済について』 富山 和彦 氏  
 『地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性』  
 人羅 格氏 岩崎 尚子氏 牧原 出氏 湯淺 壘道氏  
 寺沢 さゆり氏
- 10月20日 9時00分 ～ 11時00分 全国市議会議長会研究フォーラム  
 『地方議会のデジタル化の取組報告』 谷口 尚子氏  
 金澤 克仁氏 板津 博之氏 林 晴信氏

住 所	長野県長野市若里 1-1-3
電 話	026-226-0008
視察案件	全国市議会議長会研究フォーラム in 長野 デジタルが開く地方議会の未来
期 日	令和 4年 10月 19日 (水) 13時00分 から 17時00分まで 令和 4年 10月 20日 (木) 9時00分 から 11時00分まで
応 対 者	別紙資料のとおり
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	長野ホクト文化ホール (長野県県民文化会館)
概 要	【視察目的】 デジタルが開く地方議会の未来と題して

	<p>「コロナ後の地域経済」「地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性」</p> <p>「地方議会のデジタル化の取組報告」の3議題を基調講演と取組紹介</p> <p>●「コロナ後の地域経済」基調講演</p> <p>経営共創基盤(IGPI)グループ会長 富山 和彦氏より地域経済活性化</p> <p>デジタル革命の変化とローカル経済・中小企業経済の現状・課題からグループ会社 (交通グループ)の躍動内容を講演</p> <p>○地方ローカル交通の活性化への手段 危機をチャンスと考察 労働生産とマネジメントの 低さこそが成長の機会</p> <p>新記録ではなく時間縮小に取り組み「分ける化」「見える化」を地道にして改善する 企業主と市役所では考え方が違うが接点はどこかにあると考える</p> <p>国や県・市補助金などで賄う所はあるが、委託業者内や民営化での改善を考える 市役所が先陣を切るのではなく、業者からの想いや、やり方で改善を見出すべきこと 委託業者内や民営企業が居ないと意味はないし市役所だけでは無理である より良い企業や団体主体での企画立案実行が無ければ難しいと考える。</p> <p>○地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性</p> <p>パネルディスカッションでの事例紹介</p> <p>コロナを経験しどのようなデジタルを活用させるのか・させれるのか</p> <p>2040年程度の日本社会の姿を考えつつ地方の課題を解消させる内容である</p> <p>人口減少・交通機関減退・医療費の増大や認知症患者をどの様にするのか 病院の在りなどから、デジタル化をどの様に推進、活用をして行き今後の急激なデジタル化 とアフターコロナの日本の進む道を考える</p> <p>全てがデジタル化で良いのか、デジタルの使い分けを精査する</p> <p>デジタルに精通した人を探したり・採用したりし役所内でのデジタル化向上を実施するべき 人が減少するので有効な事業ややり方を実行していくべき</p> <p>○地方議会のデジタル化の取組報告</p> <p>議会のDX化・議会内のインフラ整備 DXはただのツールとして考えシステムをどう導入 し活用の道を考えるか</p> <p>どの議会議長も内容もDXを先進的に活用したと言う内容であるか、本当にどこに何が 必要なのかと言う所、議会毎での必要性の精査を考えるべき</p> <p>地方では今後人口減少の問題、その時に行政が市民の暮らしの安心・安定をどの様に 担保して行くのかという所を考え今から対応するべきだと考える</p>
	<p>DXはただのツール課題を解決する一手段として利用することが重要である。</p> <p>議会においても、なり手が減少やコロナ禍での議会の在り方を考える。オンラインは必要でも 全てではないと感じた。ICTの必要性目的が何なのか、目先だけの事をすればICTではない 今後、議会運営に対ししっかりと目的・問題を明確にしながらICTを取り入れなければ やりたがりだけの運営になると感じた。</p>